

東大・東北大現代文課外実施しました

このごろ、大田和先生の授業が妙に懐かしく感じられます。きちんと準備したテキストとともに、評論を読むことの楽しさに導いていただいたすっきりとした授業展開がとても興味深いものでした。

高校入学とともに、1年9組のクラス担任は、大田和頼母先生でした。その後、ホームルーム長を任されたり、生徒会に関わったり、3年3組でもう一度大田和先生のクラスになったり、卒校で添削をお世話になったり、ずっと私の高校生活から国語にかかわる進路に関して、大田和先生がいつも傍らにいていただきました。

先生は、大陸で終戦を過ごされたと聞きました。高校時代には、病気で1年卒業が遅れたとも聞きました。早稲田大学に進学されたのち、大恋愛に遭遇し、その恋に破れたとも聞きました。

大学入学試験に関しては、加藤周一との書簡のやり取りから、「日本の庭」という評論における教科書の解釈の間違いを指摘され、加藤周一も納得したとのこととも直接先生から伺いました。

磐城高校を私が去るときに、パソコンに関する様々なソフトをいただきました。早く帰れといつも声をかけていただきました。

東京大学の国語第1問の出典と作問を見事に的中されたとも聞きました。それも豈はからんやであります。毎年の出典における傾向を読み解き、その文章構造と出題構造をたどりながらいく時、「自らの体験に基づいた主体的な国語の運用能力を重視する」という東京大学入学者募集要項の項目に合致する出典と出題を探ることができていくのだと推察します。

今年の夕焼けがやけに美しく見えるのは、大田和先生への思い出がそうさせるのでしょうか。

今回、大田和先生の教えに基づき、1年生に対して東大東北大の評論文課外を9月21日と22日に実施しました。先生の足元にも及びませんが、生徒たちがその解法的一端でも閃いてくれたらと思います、実施したところです。

2, 3年生も評論文添削に応じますので、校長室においでください。東大東北大から、京都大、一橋大、北海道大まで、どこでもOKです。小論文でもいいですよ。基礎事項の復習でも、センター対策でもなんでも大丈夫ですのでぜひ通ってみてください。